

メールマガジン (2011年12月号 Vol.18)

(発行所) (株)エルエルアイ出版

〒103-0004 東京都中央区東日本橋 2-27-4 靴下会館7階

TEL 03-3868-0738 FAX 03-5809-3650

<http://www.lli-publishin g.com/>

グリーンサーキット活動を継続



日本木工機械協同組合（下平紘一理事長）が事業の柱として進めるグリーンサーキット（安藤直人委員長＝東京大学名誉教授）、当初計画の最終回に当たる会合が12月2日午後2時から東京都文京区弥生の東京大学・ファカルティハウスで開催、安藤委員長が総括講義、参加企業による情報交換を行うとともに、グリーンサーキット活動を継続し、最終目標の国産材、地域材を使った市場創造に向けた活動を継続していくことになった。

グリーンサーキットは東京国際木工機械展・グリーン産業展の開催とともに日本木工機械協同組合が今年度事業の柱として進める活動で、グリーン産業運動の一環として日本木工機械協同組合を中心に日本家具産業振興会、全国建具組合連合会、全日本木工機械商業組合が幹事役となり、安藤直人氏を委員長に迎えて業種を超えた木材加工関連

企業が新しいモノづくりを模索するもの。グリーンサーキット2011では2011年9月から12月にかけて全5回のセミナー・交流討論会を実施するとともに、関連イベントに積極的に参加して情報収集、研鑽の場とした。

当初計画の最終回に当たる今回は総括討論として、安藤委員長が過去4回にわたるプログラム全体を総括するとともに、参加企業による問題提起と討論を行った。安藤委員長はグリーンサーキット発足のきっかけとなった安藤塾からの経緯を説明するとともに、「約3カ月、5回にわたって関連する産業・市場と政府施策、木材産業の時代性に関して情報を集めてきた。これを情報発信、できれば市場創造にまでつなげていく必要がある」と説明してグリーンサーキットの継続、今後の運営について方向性を示唆した。